

【緑十字展 2019 – 働く人の安心づくりフェア in 京都 – の活動報告】

<開催日> 令和元年10月23日~25日の3日間

<開催場所> 京都パルスプラザ（京都市伏見区竹田）

<共同出展> アス・プランテック(株)（EMATECと共に公益事業としてインフラメンテナンスに関する技術情報を広く公開している一般財団法人国土政策研究会の会員）

<展示内容>

①アスベスト規制について

②簡易顕微鏡によるアスベストの観察 など

<来場者数> 来場者数 17,162名（3日間）

<出展報告>

センターの展示ブースでは、アスベスト規制に関するパネル、アスベストの実物を簡易顕微鏡で観察するデモ機、アスベスト規制や塗膜くずに関連する法規制を整理したチラシを作成し、来場者への情報提供を行いました。なかでもアスベスト規制を整理したチラシは好評で、法改正が検討されていることについて「レベル3（石綿含有成形板）が規制対象となった場合の対策が何処まで必要になるのか」、「事後報告が規定されるのか」などの質問がありました。また、アスベストの顕微鏡観察は多くの方が興味を示し楽しみながら観察していただきました。

センターの出展ブースへの来場者は、業種別では製造業の安全管理者・設備管理者が主体であった。同時に全国産業安全衛生大会が開催されたこともあり、地域別では大阪府、京都府、奈良県、兵庫県の企業であったが、遠くは仙台をはじめ関東圏、中部圏、北陸、中国、九州地方からの来場者も多数みられました。

